

TOKYO働き方改革宣言

全従業員が仕事もプライベートも楽しみで“たまんない”
毎日を過ごせるライフワークバランスを進める。その為に
テクノロジーを駆使し生産性を上げることのできる仕組み
を作り、利益を追求できる環境を整える。

令和3年4月13日
株式会社GLOBAL KOEI

目 標

働き方の改善

業務内容を見直し、システムの導入・活用をしながら
2023年までに全従業員の残業時間25時間以下を目
指し、2029年までに残業時間0時間を目指す。様々な
ライフステージに合わせた多様な働き方を提供する。

休み方の改善

属人化している業務を整理し、休みやすい環境を整え計
画的に年次有給休暇を取得することで2023年までに取
得率60%以上を目指し、2029年までに取得率100%
を目指す。

取 組 内 容

働き方の改善

反響の初期対応や追客の負担など、生産性の低い業務
に対して積極的にシステムを導入し、業務の効率化を
図っていく。男性女性に関わらず変化していくライフス
テージに合わせた働き方を選べるように多様な働き方を
積極的に導入、提案する。(テレワーク、産休、育休、短
時間勤務 他)

休み方の改善

年間休日計画表の作成。これをもとに年次有給休暇の
取得を促すことで計画的に業務を遂行しながらも年5日
の取得義務を達成する。また、属人化している業務を見
直し、システムを活用しながら日々生産性の高い業務に
集中できる環境を作り、業務内容に関わらず、全従業員
が休みやすい環境を提供する。